

みまもりあいプロジェクトへの協力のお願い

天理市 社団法人 セーフティネットリンケージ 医療法人 健和会

○みまもりあいプロジェクトとは○

認知症の方や子どもの一人歩きや迷子等を、なるべく早く発見するため、スマートフォンの検索アプリ(みまもりあいアプリ)とフリーダイヤル・専用IDが記載された「みまもりあいステッカー」を組み合わせた見守り活動です。

当システムは、社団法人セーフティネットリンケージが開発し、特許技術により個人情報を守った状態で、協力者が直接、高齢者の家族に連絡をとることができ、身元確認や保護に素早く対応ができます。

○みまもりあいプロジェクトへの協力のお願い○

このシステムは、大勢の協力者がいれば、高齢者等を発見できる可能性が高くなり、速やかな保護につながります。みまもりあいアプリは、無料でダウンロードできます。

このプロジェクトは、普段の生活の中で、検索情報の高齢者を見かけたときにお声掛けをお願いするものです。

探してほしい

検索依頼



依頼者

「おばあちゃんが見当たらない!」
専用アプリの検索依頼ボタンを押すと、
協力者に捜査協力依頼が配信されます。

「検索者情報」配信

みまもりあい 今
500m以内の介護者から捜査協力依頼が発信されました



あなた(協力者)

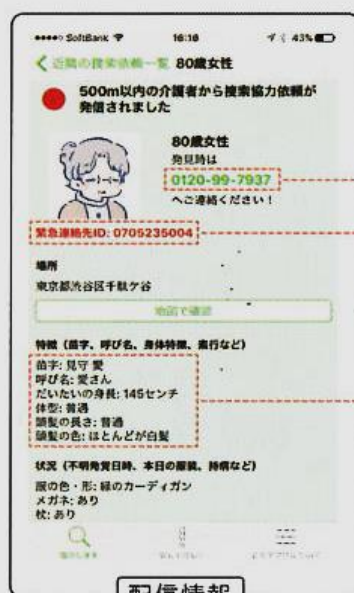
専用アプリから協力者に検索依頼が届きます。協力ボタンを押すと配信された検索依頼情報が閲覧できます。

もしかして...!

発見



発見したら、検索者情報に表示されているフリーダイヤルに連絡してください。ID番号を入力すると直接依頼者に電話が繋がります。(その際、あなたの電話番号等の情報は依頼者には表示されません)



配信情報

●電話番号

●ID番号

●検索者の特徴

見つかりました

確認



依頼者

無事保護を確認したら依頼者が「発見ボタン」を押します。
すべての配信先にお礼の通知が配信され
「検索者情報」は自動消去されます。

「発見」のお礼配信

みまもりあい 今
捜査協力依頼が出されていた80歳女性が見つかりました。ご協力ありがとうございました。



あなた(協力者)



みまもりあいステッカー

ステッカー記載のIDとフリーダイヤル利用により、個人情報を保護した状態で発見者のご家族が直接繋がることのできる、日本で唯一の特許技術活用ステッカーです。防犯機能として通話はすべて録音管理されます。

今すぐ無料アプリダウンロードと登録を!

- 1 App Store や Googleplay など「みまもりあい」と検索し、無料アプリをダウンロード。
- 2 アプリを起動して、画面右下の「このアプリについて」をタップ、「利用者情報の確認・変更」内「メールアドレス」の欄にあなたのメールアドレスを入力。協力者登録の完了です。



App Store



Google Play



「みまもりあいアプリ（地域共生支援アプリ）」

東京都八王子市での実績
(2018年度)

アプリダウンロード数 約10,000件
検索配信件数 689件
発見連絡数 208件
(社団法人セーフティネットリンケージ調)

ライフサポート

「交番には年間186億円の現金が届けられ、7割が本人に戻る。日本人の助け合う力を生かし、迷子の認知症の人を早期発見できる仕組みをつくりたいと考えた」。社団法人セーフティネットリンケージ(札幌市)の高原達也代表理事は強調する。互助の力に目を向け、不明者を捜し出すステッカーとアプリを開発。自治体が続々と導入している。流れはこうだ。家族は「みまもりあいステッカー」を患者の財布や携帯電話などに貼り付け、発見時に連絡がほしい回線を2つまで登録する。捜索への協力者は事前に無料の専用アプリをダウンロードしておく。

不明時、家族はアプリにID番号や顔写真、当日の服装などを記載し、捜索依頼ボタンを押す。最大20分以内の協力者のスマートフォンに不明者の情報が届く。

認知症 家族の負担軽く

◇アプリ使い不明者 悩み共有できる◇

「発見した場合、フリーダイヤルに電話し、ステッカーのIDを入力、家族の連絡先に電話がつながる。」「終電後の駅構内のベンチに座っており、駅員が袖のステッカーを見て連絡をもらえた。」「軽い交通事故にあい、ステッカーを見た病院関係者から連絡を受けた。」「患者の家族から感謝の声が相次いでいる。24時間365日利用可能だ。ステッカー48枚付きで年間3600円、入会費は2000円。このシステムを導入した自治体は福岡市、千葉県柏市などに24にのぼる。例えば、東京都八王子市ではアプリのダウンロード件数が9千件を超え、2018年度は検索依頼が689件あった。通報件数は2022年に達し、実際に成果を上げている。「マップル」など地図・旅行書を取り扱う昭文社が開発したのは、患者の居場所の位置情報を家族に知らせるQRコードがついたシール「おかえりQR」だ。

国内の認知症5人に1人は73歳以上の高齢者だ。認知症の気づきが最も遅いと言われる、作業療法士、部屋を散らかしなみに置くといった初期の症状に注意を。察時に取りこみ、このためでは診断が

日経新聞(2020年2月12日)

みまもりあいアプリのダウンロード方法

- 1 App StoreやGoogleplayなどで「みまもりあい」と検索又は表面の二次元コードからダウンロードを行います。
 - 2 ダウンロードが完了したらアプリ利用の準備を行います。アプリを開いてください。
 - 3 アプリの説明文を確認して、「次へ」をタップします。
 - 4 地域情報の受け取りの希望をチェック(はい・いいえ)し、経験職業をチェック(任意)します。
 - 5 メールアドレスを入力し、「登録する」をタップします。
 - 6 「利用を開始する」をタップします。
 - 7 捜索を依頼する方から500m~20kmの方を対象に捜索依頼が届くため、位置情報の使用を許可します。
【iPhoneの場合】「このAppの使用中的み許可」か「常に許可」を選択。
【Androidの場合】設定画面から位置情報を「ON」にする。
- ありがとうございます。全ての手続きが完了しました。

「みまもりあいアプリ（地域共生支援アプリ）」の活用

天理市では、社団法人セーフティネットリンケージと医療法人健和会と「地域共生支援アプリを活用した地域共生社会の実現に向けた包括連携協定」を締結し、認知症高齢者等のみまもり事業をベースとし、本アプリの多様な機能を活用した以下の取組を今後展開していきます。

ICTを活用したマッチング（天理市支え合いの輪プロジェクト）

誰かの助けになりたい人 ⇄ 助けてほしい人

「地域共生支援アプリ」を利用したマッチング

項目	人数・件数
マッチング件数	60件(継続・単発支援)
利用者数	22名
ボランティア登録者	44名
ボランティア活動者	130名(延べ)

(2020.10.26~2021.6.28)

生活支援コーディネーター(SC)

① 通知 ② 回答 ※ 回答集計 ③ 連絡調整

SCから各ボランティアに支援依頼をアプリに配信

各ボランティアはアプリで回答

各ボランティアの回答集計を確認し、派遣するボランティアを決定 ※ 管理者画面での確認

派遣ボランティアとSCが、アプリ内のチャット機能で連絡調整

天理市 SAFETY NET LINKAGE

【担当課】
天理市役所 健康福祉部 福祉政策課 ☎ 0743-63-1001 (平日9時~17時)

【みまもりあいステッカーに関するお問い合わせ】
社団法人セーフティネットリンケージ ☎ 011-572-6855 (平日9~18時)

☎「情報配信」「チャット」機能を活用した、助けてほしい人と助けになりたい人とのマッチング(「天理市支え合いの輪プロジェクト」)

☎「音声配信」機能を活用した、「居場所づくり(オンラインサロン)」(2021.8月以降)

「福祉型オンラインサロン」の開設

認知症の人も使える「アプリ」×「居場所」

若年性認知症当事者や独居高齢者など地域とのつながりが希薄化した当事者や家族の「当事者同士のつながり」「地域とのつながり」「支援者とのつながり」を「地域共生支援アプリ」を活用し創出

引きこもり・孤独 独居高齢者 若年性認知症当事者 認知症当事者家族 ケアマネ・民生児童委員・福祉関係者・学生・地域住民

音声SNS

当事者談・自分史語り

音声配信 = 社会参画

グループ参加 = 居場所

天理市 SAFETY NET LINKAGE